

健康科学大学健康科学部 履修系統図（カリキュラムツリー）：福祉心理学科

【健康科学大学ディプロマポリシー 表記記号】

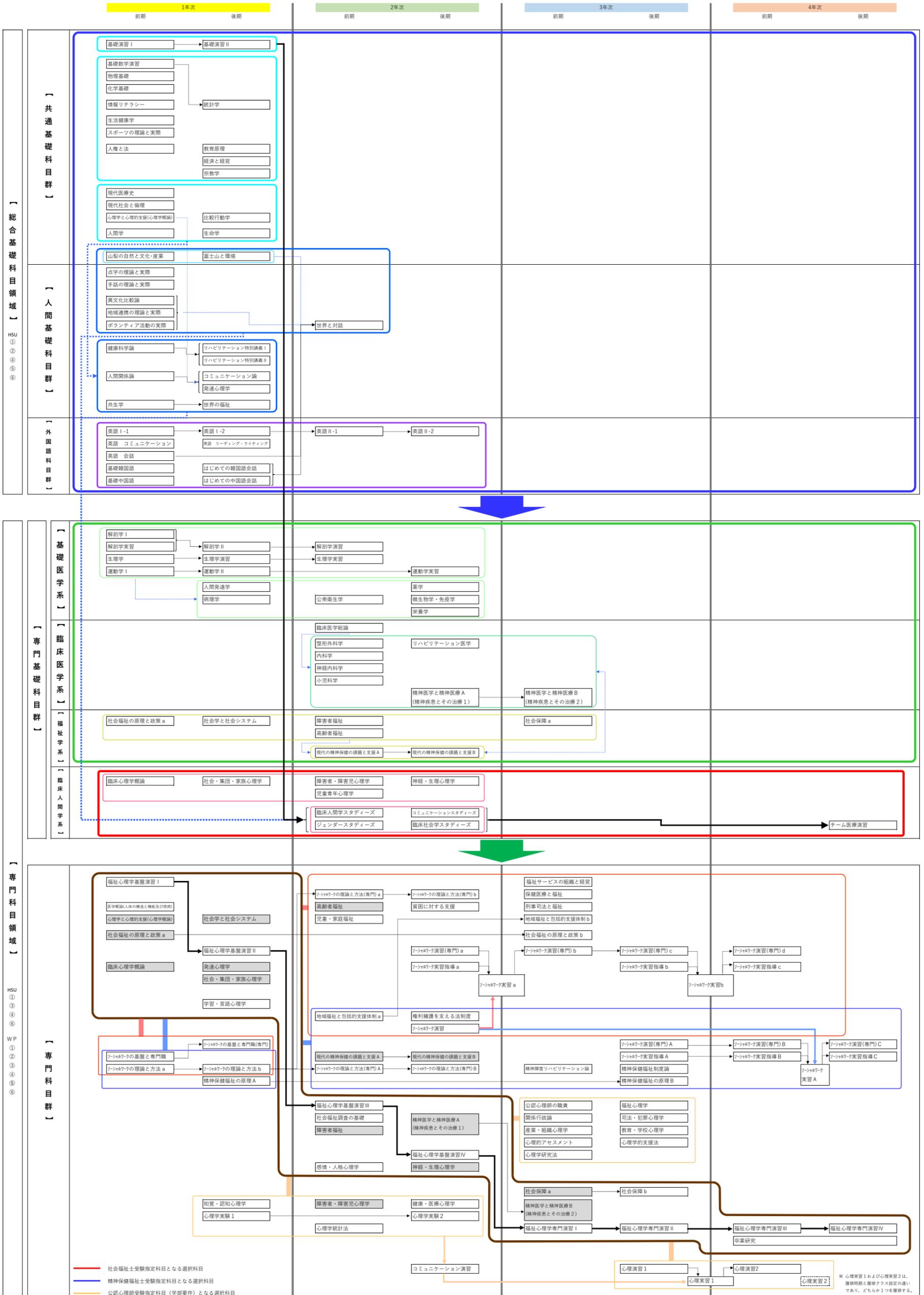
ポリシー	表記記号
① 生命に対する深い理解力、人権を尊重する高い倫理性、他者を思いやる豊かな人間性を身につけている。	HSU①
② 専門的な知識・技術力とそれを活かすための幅広い教養を身につけている。	HSU②
③ QOL(Quality of Life)の重要性と多様性を理解し、全人的な視点から支援することができる。	HSU③
④ 関連職種と協働しチームの一員として役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。	HSU④
⑤ 様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。	HSU⑤
⑥ 社会の変化や技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。	HSU⑥

【福祉心理学科ディプロマポリシー 表記記号】

ポリシー	表記記号
① 豊かな人間性をもち、一人ひとりの尊厳を高められるような関わりができる。	WP①
② 人と人をつなぎ共に社会を作ることができる力を身につけている。	WP②
③ 広い視野で多角的に物事をとらえ、多様性を尊重する姿勢を身につけている。	WP③
④ 自らの役割に責任感を持ち、自分らしさを磨き続ける姿勢を身につけている。	WP④
⑤ 社会福祉学と心理学の基本的知識と技能を修得している。	WP⑤
⑥ コミュニケーション力を基盤とした確かな社会人基礎力を身につけている。	WP⑥

【矢印の種別】

種別	関連性
実線	大きく関連するもの
点線	一部関連するもの



※ 心理実習 1および心理実習 2は、履修時期と履修クラス設定の違いであり、どちらか1つを履修する。

健康科学大学健康科学部 履修系統図（カリキュラムツリー）

科目区分説明：福祉心理学科

【健康科学大学ディプロマポリシー 表記記号】

ポリシー	表記記号
① 生命に対する深い理解力、人権を尊重する高い倫理性、他者を思いやる豊かな人間性を身につけている。	HSU①
② 専門的な知識・技術力とそれを活かすための幅広い教養を身につけている。	HSU②
③ QOL(Quality of Life)の重要性と多様性を理解し、全人的な視点から支援することができる。	HSU③
④ 関連職種と協働しチームの一員として役割を果たすためのコミュニケーション能力を身につけている。	HSU④
⑤ 様々な課題に対応できる社会人としての基礎力を身につけている。	HSU⑤
⑥ 社会の変化や技術の進展に対応でき、自己研さんする力を身につけている。	HSU⑥

【福祉心理学科ディプロマポリシー 表記記号】

ポリシー	表記記号
① 豊かな人間観をもち、一人ひとりの尊厳を高められるような関わりができる。	WP①
② 人と人をつなぎ共に社会を作ることができる力量を身につけている。	WP②
③ 広い視野で多角的に物事をとらえ、多様性を尊重する姿勢を身につけている。	WP③
④ 自らの役割に責任感を持ち、自分らしさを磨き続ける姿勢を身につけている。	WP④
⑤ 社会福祉学と心理学の基本的知識と技能を修得している。	WP⑤
⑥ コミュニケーション力を基盤とした確かな社会人基礎力を身につけている。	WP⑥

【総合基礎科目領域】	
<p>人間や社会に関する科学的理解を深め、生命の尊厳と人権の尊重に根ざした高い倫理観を養成し、社会人・職業人としての基礎力・自己研さんする力、他者と共働するためのコミュニケーション能力を培います。</p> <p>≪関連ディプロマポリシー HSU①・HSU②・HSU④・HSU⑤・HSU⑥≫</p>	<p>【共通基礎科目群】</p> <p>医療・福祉・心理の専門科目習得の基礎となる「人間についての基礎的理解」とその応用を可能にする「科学的思考力」「情報リテラシー」を修得するとともに、近代社会が開示した基礎的学問（医療史、心理学、社会学、倫理学など）を学び、今日の医療・福祉の基礎となる「人間学」について学修します。</p> <p>【人間基礎科目群】</p> <p>今日の「健康と福祉」の理念および人間関係の基礎を学習するとともに、多文化共生社会における医療・福祉・心理の人材としての認識と教養を養い、異文化間コミュニケーションの能力を身につける本学独自の科目を用意しています。</p> <p>【外国語科目群】</p> <p>医療・福祉・心理の人材として、グローバル化社会に対応できる語学力と実践的コミュニケーション能力を身につけます。</p>

【専門科目領域】	
<p>≪関連ディプロマポリシーHSU①・HSU③・HSU④・HSU⑥、WP①・WP②・WP③・WP④・WP⑤・WP⑥≫</p>	
<p>【専門基礎科目群】</p> <p>医療・保健・福祉・心理のみならず、その関連領域と連携できる高い教養と専門関連知識を身につけます。また、差別や偏見にとらわれない専門職者・職業人としての見識を養います。</p>	
<p>【基礎医学系】</p> <p>基礎医学系では、医学の基礎を修得するための授業科目が設置されています。解剖学、生理学、運動学、病理学など、理学療法・作業療法を学ぶ上での基盤となる医学知識を身につけるために、演習や実習も取り入れ段階的学べるように科目を構成しています。同時に、福祉や心理の領域を学ぶ学生が人体の構造と機能についてより深く学ぶことができるようになっています。</p>	<p>【臨床医学系】</p> <p>臨床医学系では、理学療法・作業療法を修得する上での基本的素養となる病態・診断・治療についての科目が設置されています。また福祉・心理の領域を学ぶ学生に対しては福祉と医療または心理と医療の密接な関係を理解できるように、臨床医学全般について広く学べるような授業科目を設置しています。作業療法や福祉・心理的支援を行う際には精神疾患に関する知識も必要となるため、精神医学や精神疾患に係る科目も設置しています。</p>
<p>【福祉学系】</p> <p>福祉学系では、社会福祉学を中心とし、現代社会の課題を理解する授業科目で構成されています。具体的には少子高齢化が進む社会に対応するための社会保障の課題、高齢者や障害者などの生活弱者の理解、さらにはメンタルヘルス問題に関する授業科目を設置しています。それにより、今日的課題である地域共生社会の実現における医療専門職の位置づけや役割に関する幅広い知識を身につけることができます。</p>	<p>【臨床人間学系】</p> <p>医療・福祉領域における専門家は、高い専門的知識や技術力と同時に、人間を理解するための新たな知見（心理学、社会学、生命学やジェンダー論など）を得ることが必須です。本学は臨床現場において自ら思考し自立した専門家を育てるために、臨床人間学系の科目を充実させています。</p>
<p>【専門科目群】</p> <p>医療・福祉・心理に関わる専門職者・職業人が必要とする高度な知識や技術・技能、さらに人間学に基づく臨床の知を身につけられる講義や実習を用意しています。また、それぞれの学科においては、国家試験受験資格取得に関わる指定科目等が無理なく履修できるように、科目の学年配当や必修科目・選択科目の配置を工夫しています。</p>	